

## 向山・谷津南 大会連覇

### モリシア杯少年野球大会

第38回モリシア杯「習志野市小学校区対抗少年野球大会」が10月7日と14日、第一カッター球場ほかで開かれた。

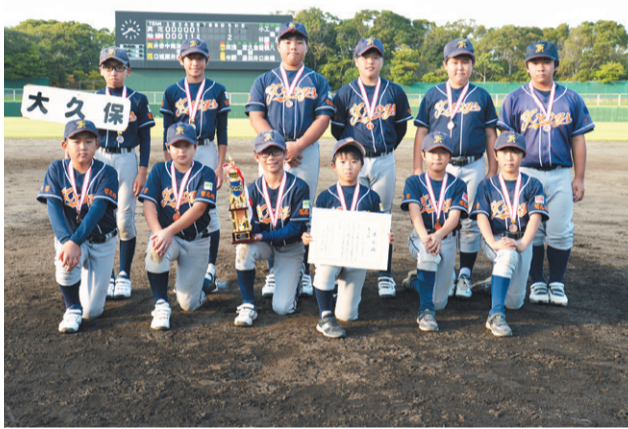
大会はモリシア杯少年野



優勝の向山・谷津南小学校区



準優勝の実花小学校区



第3位の大久保小学校区



第3位の屋敷小学校区

大会結果は次の通り。

△1回戦	向山・谷津南小学校区	10	0	0	0	0	2
△2回戦	大久保小学校区	0	0	0	0	0	2

実花小学校区	0	0	3	0	0	0	1
向山・谷津南小学校区	0	0	0	1	1	1	1

【後記】決勝戦は前回大会と同じく実花小学校区と向山・谷津南小学校区との顔合わせとなった。

1回表、実花は1番井口が四球、3番中原の左前安打で一死走者一、二塁とするが無得点。向山・谷津南は1回裏には3番扇、2回裏には7番樋口がともに二死から安打で出塁するが無得点。

3回裏、向山・谷津南は

実花の捕手・筒井の好捕で一死となるものの、1番田中の二塁打、2番浅野の中間安打、扇の四球で満塁とするが、実花投手・中原がしのいで得点を許さない。

一方、実花も4回表、5番海老根、6番五十嵐の連続四球で好機を迎えるが、向山・谷津南の継投・八朔に抑えられる。

先制したのは向山・谷津南。4回裏、一死から樋口が四球。代打・8番繩村の内野飛は安打となり、9番八朔の送りバントで二死走者二、三塁に田中の右前適時打で樋口がかえり1点を奪う。実花は5回表、一死から井口が一、二塁間を抜く右前安打で出塁。中原の中前安打で走者一、二塁とするが好機を生かせない。

向山・谷津南は5回裏、扇が四球、連続盗塁。5番久保田の中前安打で扇がかえり1点を追加する。2点差とされた実花は最終6回表、先頭の海老根の左中間本塁打で1点を返すものの、向山・谷津南の継投・

## 五中が2年連続優勝飾る 中学野球 新人戦



優勝の五中

令和5年度習志野市中学校新人体育大会・野球の部が9月17日から30日まで、第一カッター球場で開かれた。

トーナメント戦の結果、昨年度に続いて五中が優勝を飾った。五中は10月14日の県大会に出場。

決勝戦は一中と五中が対戦した。五中先発の投手・山崎は立ち上がり順調。五中は1回裏、3番山崎の右前安打、4番山下の三遊間を抜く二塁打で、二死走者

二、三塁とし、5番宮脇の左前安打で山崎がかえり先制点を挙げる。

一中は3回表、8番赤荻が中前安打で出塁するが牽制死。二死となるが、9番嶋村は四球、1番金井は中前二塁打で走者二、三塁だが無得点。3回裏、五中も先頭の2番内藤の四球、盗塁などから走者一、三塁とするが二者残塁に終わる。

4回表、一中は二死から5番熊倉が右前安打で出塁するが盗塁死。4回裏、五

△1回戦	五中	1	0	0	0	0	0
△2回戦	一中	1	7	1	1	1	1

6回は両校ともに無得点。7回表の一中は一死から7番山村が右前安打で出塁するものの、後続なく、反撃はこままととなり、五中が接戦に勝利した。

優勝した五中の山下将暉キャプテンは「今回の大会はすべての試合でメンバー全員が活躍することができず厳しい戦いが続きましたが、チーム全員であきらめず戦い、優勝できたので良かったです」と話した。

大会結果は次の通り。

浅野が以降を抑え、接戦の決勝戦の幕は閉じられた。

向山・谷津南小学校区の田中遥馬キャプテンは「習志野市最後の大会、故障者が続出し苦しい試合が続きましたが、下級生が応援にきてくれ、勝利に導いてくれました。いままで支えてくれた、監督、コーチ、連盟、そしてチームのみんなに感謝したいです」と話した。

モリシア杯「習志野市小学校区対抗少年野球大会」の様子を紹介する「モリシア杯少年野球写真展」の開催を予定している。

中は先頭の7番佐藤倉が左翼線にこの日チーム5本目となる安打。8番真鍋のバントは内野安打となり、無死走者一、二塁。一死から1番佐藤倉は四球で満塁。内藤は内野ゴロだが、悪送球で佐藤倉、真鍋がかえり2点を追加する。

3点リードされた一中は5回表、4回に代打で入った先頭の6番清田が右前安打。赤荻が右前安打で一死走者一、二塁とし、金井の左越三塁打で清田と赤荻がかえり、一中は2-3と1点差に迫る。